allcinema

ノストラダムスの大予言(1974)

CATASTROPHE 1999

メディア 映画

ジャンル パニック

製作国 日本

色彩 Color

時間 114分

初公開日 1974/08/03

【解説】

公害の危険性と環境破壊問題を訴え続けていた環境研究所所長、西山の元へ夢の島での異変が伝えられた。現場ではゴミの中に巨大なナメクジが大量発生していたのだ。同行したカメラマンの中川は西山の一人娘まり子と恋仲だったが、不安定な世情のせいか結婚をためらっていた。だが中川の故郷で赤潮が発生、絶望した網元の父が入水自殺した哀しさを隠すために中川とまり子は体を重ねた。消息を絶った調査隊を追ってニューギニア奥地を訪れた西山たちは、突然変異を起こしたコウモリや蛭、人食い人種との戦いの末に隊員たちと出会うが、彼らは既に放射能によって変わり果てた姿となっていた。世界各地では異常気象や異常事態がなおも続く。エジプトには雪が降り、南洋は氷河と化し、銀座では奇怪な植物が発生。航空機爆破によってオゾン層は破壊され、降り注ぐ紫外線が人を森を焼き尽くす。若者は自殺への道をひた走り、逃げ場の無い人々には容赦ない自然の猛威とそれに伴う人災が降り掛かっていく。混乱と暴動の続く中、西山と中川が見上げた空には、破滅の都市・東京を不気味に映し出した蜃気楼が浮かび上がっていたのだ……。

当時、一大ブームとなっていた五島勉のベストセラー「ノストラダムスの大予言」を基に、『日本沈没』の大ヒットを受けて製作されたディザスター・スペクタクル。物語は、長崎の蘭学者・西山玄哲、玄学、良玄の三代に渡る視点で描かれているが、ドラマ性よりもパノラマ的な見世物を主軸とした構成となっている。次から次へと描き出される地獄絵図は見る者を恐怖に陥れだけでなく、当時の世相に漂っていた終末思想をなお後押しするような苦いものであった。富田勲の雄大なスコアも壮快さより荒涼とした雰囲気を作り出していた。70年代半ば、世界的現象として捉えてもかまわない世紀末への不安と未来への絶望という図式。この作品は、そのもっとも見事な体言化と言えるだろう。人食いや発狂というタブーとされる題材を取り込んでいるためビデオ化はされておらず(カットされたバージョンがTV放映された事はあるが)、現在では再編集・英語吹替えによるアメリカ版のバージョン("LAST DAYS OF PLANET EARTH")が輸入ビデオやLDで鑑賞できるだけの幻の作品となっている。同時上映は『ルパン三世 念力珍作戦』。

【クレジット】

監督 舛田利雄 Toshio Masuda

製作 田中友幸

田中収

 構成
 八住利雄

 原作
 五島勉

脚本 八住利雄

潤色 舛田利雄 Toshio Masuda

坂野義光

撮影 西垣六郎

鷲尾馨

美術 村木与四郎

allcinema

編集 小川信夫 楽音 冨田勲 特技監督 中野昭慶 特技・撮影 富岡素敬 齿本山

特技・美術 井上泰幸 ナレーター 岸田今日子

出演 丹波哲郎 Tetsuro Tamba 西山良玄/玄啓/玄学

> 中川明 (カメラマン) 黒沢年男 司葉子 西山信枝(良玄の妻) 西山まり子(良玄の娘) 由美かおる

青木義朗 柏尾憲兵少佐 平田昭彦 植物学者 小泉博 動物学者 谷村昌彦 田山 浜村純 木田

おりん (玄哲の妻) 谷口香 玄武 (玄哲の子供) 田遠実

久野四郎 隠密 原田君事 隠密 小笠原剛 隠密 竜崎勝 大根 佐々木勝彦 吉浜 武藤章生 井原 音羽久米子 木田の妻 麻里とも恵 木田の娘 鳥居功靖 木田の娘の夫 下川辰平 自衛隊隊長

加藤小代子 四国のバスガイド 平田未喜三 三治 (組合長) 中村たつ 勝子 (三治の妻)

志村喬 病院長

浜子 (田山の妻) 稲村和子

山村聡 So Yamamura 総理大臣 加藤和夫 学者 渥美国泰 学者 北沢彪 学者

雪丘恵介 学者 ジョージ・F・フリム A国代表

ウィリー・ドーシー 黒人代表

セテラ・トニー ニューギニア調査隊員 ロルフ・ジェッサー ニューギニア調査隊員 フランツ・グルーベル Franz Gruber ニューギニア調査隊員 ライナー・ゲッシュマン ニューギニア調査隊員

鈴木治夫 警官

allcinema

青木敏夫警官杉井勇軟体人間中野宣之軟体人間瀬良庄太郎開発大臣鈴木瑞穂環境庁長官内藤武敏官房長官